

平和聖日リーフレット こどもの教会版

こどもといっしょに「へいわ」についてかんがえる絵本を紹介させていただきます。

- 『世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ』

2014年 汐文社 くさばよしみ：編 中川学：絵



この絵本のすごいところは、今、わたしたちの社会が抱えている様々な問題の原因は何か、ということをも誰かが納得できることばで表していることです。南米、ウルグアイの大統領、ホセ・ムヒカが2012年ブラジルで開かれた国際会議で行った演説を絵本にしたものですが、彼の語る人間の本来あるべき姿というのはどんな国にも、どんな民族にもあてはまる普遍性を持っています。

- 『新・戦争のつくりかた』

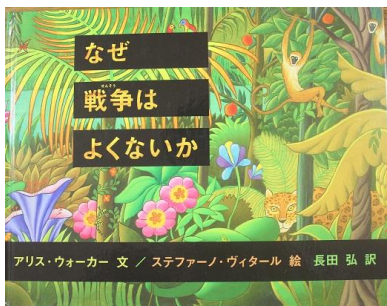
2014年 マガジンハウス りぼんぷろじえくと：文 井上ヤスミチ：絵

10年前に発行された『戦争のつくりかた』は、まさしく今の日本を予言していた！思わずそんなことを考えてしまう絵本です。10年経って、日本は集団的自衛権の行使を憲法解釈の変更という形で容認してしまいました。この本は「戦争できる国」への準備が着々と進められてきたことを、詳細な資料を交えて示してくれています。



- 『なぜ戦争はよくないか』

2008年 偕成社 アリス・ウォーカー：文 ステファーン・ヴィタール：絵

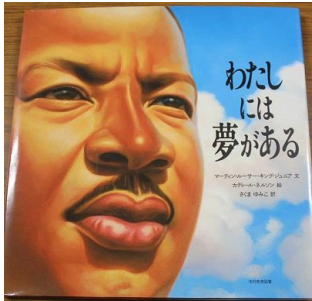


アメリカの黒人差別の実態を描いた小説「カラー・パープル」の著者が、2001年9月11日のテロ攻撃に対してアメリカが行った報復の現実を知り、衝撃を受けたことからこの本が生まれました。戦争がたくみに姿を隠しながら、わたしたちの生活に忍び寄ってくる — そんなおそろしさを見事な絵と文で表現しています。

・ 『わたしには夢がある』

2013年 光村教育図書 マーティン・ルーサー・キング・ジュニア：文

カディール・ネルソン：絵



1963年8月28日キング牧師は20万人以上の群集の前で、「私には夢がある」と力強く演説を行いました。肌の色に関係なく、人と人が自由と平等の元で互いに分かり合える。そんな社会を目指したキング牧師の言葉は今もなお、世界中の人々に希望を与えています。

・ 『りゆうがあります』『ふまんがあります』

2015年 PHP 研究所 ヨシタケシンスケ：作・絵

なぜこれらの本が、ここにラインナップされているのか？それは平和というのはそれぞれ違う立場の人間が、お互いの立場を認め合うことで作り上げられるものだということを、ヨシタケシンスケが独特のユーモアを交えて教えてくれるからです。描かれる内容はほとんど屁理屈と言っていいものばかりですが、中には妙に納得させられてしまうもの



もあります。とりあえず相手の言い分を聞いてみるところから平和のための第一歩が始まるのだということをこの2冊は示してくれています。

※ 今回ご紹介した6冊の絵本は特に、「おとなと子どもと一緒に“平和”を考える」ことを第一として選びました。そのため、キリスト教的な表現はあまり入っていません。ですが、それぞれの絵本にキリスト教的なメッセージを読み込んでいくことは十分可能です。もとより教会は平和を求める者たちの集まりです。その土台の上に、様々な視点を加えていくことにより、おとなも子どもも、より平和への理解を深めていくことになるのではないのでしょうか。今回ここに紹介させていただいた絵本たちがそのようなはたらきの一助になれば幸いです。なお、絵本の購入を希望される方は、ぜひ一度新生館ほか、各地のキリスト教書店にお問い合わせください。

主の平和を祈り求めます。

2016年7月

九州教区伝道センター 共育部門